

Musica Nova Consort (ムジカノヴァ・コンソート) 指揮:片野 秀俊

合唱指揮者 片野秀俊氏ご指導のもと西洋のアカペラ・アンサンブルを楽しむために2001年1月に結成され、今年で14年目を迎えます。年間行事としては、東京都合唱連盟主催の「東京 春のコーラスコンテスト」の他に、東京や神奈川の合唱祭などでも演奏させていただいています。まず1曲目に教会音楽の原点とも言える単旋律のグレゴリオ聖歌を演奏し、続いて、「黄金世紀」を迎えた16世紀スペインで活躍した2人の偉大な作曲家、モラーレスとビクトリアによるポリフォニー音楽をお届けします。

Rosa Maria no (ローザ・マリアノ) 指揮:岸 信介

1998年4月、岸 信介先生の御指導の下に結成された女声アンサンブルグループ。宗教音楽の清澄な響きを根底にアカペラの近、現代作品に取り組んでいます。また邦人作品にも積極的に取り組みレパートリーの幅を広げ、薔薇の名に相応しく香り立つ、豊かで深みのあるアンサンブルを目指して、楽しく練習に励んでいます。東京春のコーラスコンテスト2013・宗教音楽部門、第1位受賞をはじめ、様々なコンクール、お母さんコーラス大会等に出場し、評価を頂いている事は私達の大きな励みとなっております。12月19日にみなとみらい小ホールにて第4回クリスマスコンサートを開催予定。

男声合唱団ヴィヴ・ラ・コンパニー 指揮:須田 信男

埼玉県「男声あさんぶるボバイ」(春日部市)、「男声合唱団イル・カンパニー」(川越市)、「男声合唱団「コール・グランツ」(久喜市)、「ドン・キホーテ男声合唱団」(志木市)、「男声合唱団メンネルA.E.C.」(上尾市)の5団体からなる「男声合唱プロジェクトYARO会」の有志の集まりです。合唱コンクールや関東おとうさんコーラス大会などのイベントで歌っています。今回は「メンネルA.E.C.」を中心にしたメンバーが参加します。

女声合唱団花の風 指揮:岸 信介 ピアノ:山良 郁子

2013年開催の第11回影の会(岸信介先生指揮)で、なかにしあかね先生の委嘱作品「花の風」を歌った合唱団で構成され80名ほどの大きな合唱団です。昨年のおかあさんコーラス大会でデビューいたしました。今回は、「花の風」より3曲と、昨年の八ヶ岳合唱フォーラム20周年を記念してなかにし先生に委嘱した作品2曲を初披露いたします。

大久保混声合唱団 指揮:田中 豊輝 ピアノ:村田 智佳子

1957年9月(昭和32年)労音楽典講座修了生による合唱団を母体に辻正行先生のご指導の下「仮称「大久保混声合唱団」として活動を開始しました。辻先生のご逝去に伴い2004年から辻志郎先生、2008年より田中豊輝を正指揮者としてお迎えし、日々活動を続けております。全日本合唱コンクール全国大会17回出場、12回金賞受賞、第6回世界合唱シンポジウム(アメリカ・ミネアポリス)、東日本合唱祭(岩手県一関市)、水と緑の全国音楽祭(福島県郡山市)等に招待される。レコーディングも数多く手がけており、これまでに発売されているCDは「混声合唱組曲「心の四季」」「しゅうりえんえん、橋上の人」「東洋民謡集I・II」等。2003年~2007年にかけては高田三郎作品のレコーディングを行い、「高田三郎合唱作品全集「その心の響き」」として発売しております。

HPは<http://www.okubomixedchoir.jp/>

harmonia ensemble (ハルモニア・アンサンブル/招待演奏) 指揮:福永 一博

harmonia ensemble (ハルモニア・アンサンブル)は、2009年4月に、音楽大学に在籍する合唱経験の豊かな学生を中心に、高水準の合唱演奏の実現による日本の合唱文化の発展を目的として結成された。ルネサンスから現代音楽までの幅広い合唱音楽をレパートリーとし、日本の作曲家への委嘱活動も積極的に行っている。また、海外公演を積極的に行い、日本の合唱音楽を世界へ発信している。メンバー一人一人が自発的に音楽を作り、他のメンバーと意見を交わしながら、一つの音楽にまとめていくという独特のスタイルで活動している。2011年フロリダ国際合唱コンクール

(仏)においてグランプリ・聴衆賞を受賞。2012年ヨーロッパ・グランプリに招待される。2013年南フランス5か所の教会、ホールで演奏ツアーを行う。2014年第10回世界合唱シンポジウムに日本を代表して招待される。これまでに10回の主催演奏会を開催、3枚のCDを発売(「ハーモニー」特選含む)。そのほかに、全国各地の合唱祭・セミナーへの招待出演、合唱指揮マスタークラスでのモデル合唱団、音楽教材等のCDレコーディング、BS-TBS「日本名曲アルバム」へのTV出演など、多岐に渡って活動している。これまでに、高橋悠治、三宅悠太、森田花央里、網守将平、魚路恭子の作品の委嘱・初演を行う。2014年IFCM(国際合唱連合)Official Ambassador(親善大使)。

岸 信介(企画・構成)

国立音楽大学声楽科卒業。指揮法を山田一雄、和声・合唱法を増田順平の各氏に学ぶ。1970~76年日本合唱協会コンサートマスターを務める。1981年のスイス国際合唱フェスティバル以降海外での演奏にも高い評価を得る。指導している合唱団の集まりである「影の会」を主宰し、数々の新曲を委嘱初演している。NHK合唱コンクール等の審査員、各地の合唱祭の講師、講習会の講師等、多方面にわたり活躍している。また男声カルテット「クール・エスプリ」を結成、絶妙なハーモニーで各地で活躍している。全日本合唱連盟理事長、東京都合唱連盟顧問、日本合唱指揮者協会会員、日本文化協会会員、かながわ合唱指揮者クラブ会員、NS-4クワトロメンバー。

佐々木 典子(特別出演・ソプラノ)

熊本県出身。武蔵野音楽大学卒業。ザルツブルク モーツァルトウム芸術大学オペラ科卒業、ウィーン国立歌劇場オペラスタジオを経て、6年間にわたりウィーン国立歌劇場専属歌手として活躍。ウィーン国立歌劇場「影なき女」「フィガロの結婚」「リゴレット」「ルサルカ」「死の都」等多数出演の他、ザルツブルク「ドン・ジョヴァンニ」「ドン・ファン」とマツウリーナ、ザルツブルク宮廷歌劇場「ジャンニ・スキッキ」「ラウレック」等に出演。

ショルティ、アバド、レヴァインなど著名な指揮者と共演。ウィーン国立歌劇場日本公演、ザルツブルク音楽祭等に出演。帰国後、「こうもり」ロザリンド、「魔笛」パミーナ、「真夏の夜の夢」ヘレナ、「フィガロの結婚」伯爵夫人、「ニュルンベルクのマイスター・ジンガー」エーファ、「ばらの騎士」元帥夫人と大場采を浴び、新国共催「鳴神」雲の絶間姫、宮本亜門演出「ドン・ジョヴァンニ」ドン・エルヴィーラ、「椿姫」ヴィオレッタ、「フィガロの結婚」伯爵夫人など好評を博す。特にリヒャルト・シュトラウスのオペラでは06年「ダナエの愛」、07年「ダフネ」、08年「ばらの騎士」の元帥夫人、「ナクソス島のアリアドネ」アリアドネ、09年「カプリッチョ」伯爵令嬢マドレーヌで観客を魅了した。特にリヒャルト・シュトラウスの曲はライフワークとしており、作品に対する深い理解に基いた精緻でありながら艶やかなディクションの素晴らしさで群を抜き、内外でも比肩する者は少ない。レコードは「マダム・バタフライ」「影なき女」「エレクトラ」その他現代曲を多数録音しており、2009年11月、ナミレコードよりCD「R.シュトラウス:歌曲集「至福のうた」」をリリースし高い評価を得ている。2012年3月の二期会ゴールデンコンサートでもオール・リヒャルト・シュトラウス・プログラムで歌曲リサイタルを開催する。90年熊本市女性賞授与。2000年第2回ホテルオークラ音楽賞受賞。東京藝術大学教授。二期会会員。



- 【交通案内】
- 四ツ谷駅(丸の内線・丸の内線) 徒歩6分
 - 麹町駅2番出口(有楽町線) 徒歩8分
 - 赤坂見附駅D出口(有楽町線・丸の内線) 徒歩8分
 - 永田町駅7番出口(有楽町線・丸の内線) 徒歩8分